

福祉部門

バリアフリー化された施設及び住宅のうち全ての県民がいきいきと生活できる福祉のまちづくりに寄与したものを顕彰します。

春日町保健福祉センター（春日町）

多機能を備えた町の公共福祉ゾーンの中核施設

- 介護用品展示コーナー、子育て支援センターを持つ児童娯楽室、健康増進室なども備え、隣接する保健センター、デイサービスセンターと合わせて町の公共福祉ゾーンの中核となっている。
- 明るくゆとりある明快な平面計画である。大会議室は難聴者補聴システムを備えるなど、対応が遅れがちな難聴者への配慮が進んでいるほか、高さ調節のできる講演台や速記の操作卓など、あらゆる障害に対応できるよう設備が整っている。

明石クリーンセンター（明石市）

人と暮らしを考える、すべての人と環境にやさしい見学施設

- ゴミ処理のしくみ等を見て、知って、体験できる施設で、単なる焼却施設にとどまらずだれもが利用しやすい見学施設を目指し、福祉対応30人乗りの大型エレベーターを設置し、子供であれば1クラスごと移動することができる。
- 展示スペースにはパソコンによる情報提供やグラフィックパネル・映像による施設紹介が、また、見学コースには見学用窓を設け、パネルとともに日本語・英語による2カ国語の音声説明がされている。

姫路市市民会館（姫路市）

耐震補強工事の機をとらえた大規模なバリアフリー改修

- 耐震補強工事の機をとらえ、スペースの限界とともに躯体をさわれないという制限の中、バリアフリー改修を可能な限り模索している。
- 改修の内容は、メインエントランス・廊下等の段差解消、福祉対応エレベーターへの取り替えをはじめ、ホール内の観覧席を車いすで観覧ができるようキャスター付きの座席に取り替えている。また、障害をもつ方の意見を取り入れ細やかな配慮を施した多目的トイレに改修するなど、利用者の立場に立った改修がなされている。

和田山ショッピングセンター（和田山町）

高齢者等との交流が盛んなバリアフリー商業施設

- 郊外型の大規模商業施設で、老人ホームの買い物ツアーに利用されたり、和田山小規模作業所の成果品を販売するイベントなどを開催している。
- 高齢者や障害をもつ方々に配慮した設備のほか、車いす用の買い物カートを配備し、取り付けの際には従業員が手助けをする。また、赤ちゃんルームでは衛生的に授乳やおむつ交換ができるとともに、母子健康相談も行うなど、あらゆる人が使いやすい施設である。

道の駅 フレッシュあさご（朝来町）

ユニバーサルデザインを目指した道の駅

- 播但連絡道の上下線の地形的レベル差を利用した施設であり、下り線側の地上レベルと上り線側にある施設の2階レベルとを連絡橋で段差なく結び、エレベーターにより1階レベルに降りることができる。
- 施設は物産コーナーやレストランがあり、通路やカウンターなども使いやすくするとともに、広やかな多目的トイレ、授乳室・オムツ替え台などを備えている。一方、下り線側の駐車場にも身障者用トイレを設置し、障害者等の快適な外出をサポートしている。

フェスタ立花（尼崎市）

市街地再開発事業によるJR立花駅周辺の一体的整備

- 住宅と商業施設、公共施設などの複合ビル2棟と駅前広場等、JR立花駅周辺を一体的に整備し、駅と各ビルを上屋付きデッキで結ぶとともに、ビル内のエレベーターは鉄道利用者の移動に供するため鉄道の始発から終発時刻に合わせて運行されている。
- 建物内に24時間開放の自由通路や大規模な駐輪場等を設け、駅周辺のスムーズな往來を確保するとともに、バリアフリーの体験や住宅改修コーナーのある「すこやかプラザ」など市の施設を商業ゾーンに誘致し、利用者の来街動機を高めている。

